

ウムチョ ムゥイーザ通信 No. 3 3

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。

2 9

NPO法人12年の歩みと震災

2012.11.23

カンベンガ マリールイズ



夢を語れなかった子どもたちに背中を押され学校づくりをはじめ早いもので12年経ちました。ルワンダの内戦が終わっても夢と希望をなくしていた私、日本に来て、「生かされたからきっと私にできることがある」と、仲間の皆さんに話をしました。すると、「学校を造ることって大変ですね。」「生活もままならないのに学校づくり?!」でも、前高橋啓子理事長は、「ルワンダの子どもたちの問題を知っているのはあなたですよ！」

その解決に向かっていかなかったら他にだれがやってくれるの?」そして「今やらなかったら子どもたちは成長し続けるのにつづくの?」応援していますから頑張ってください。」と優しく力強く背中を押してくれたように思います。その一言が皆さんの心に届き、励まされ一步一步歩いていったら今にたどり着くことが出来ました。感謝の気持ちでいっぱいです。



思い返せば、教室2つができた時のことです。たくさん学校に行きたくてもいけなかった子どもたちがウムチョムゥイーザ学園に集まって授業を開始しました。1ヵ月後には学んでいた60人全員「学校の先生になりたい!」と夢を語ってくれました。夢が実現できたかのように嬉しかったです。たくさんの仲間に支えられて教室を一つずつ増やしていきました。ADESOCの仲間は現地で力強くその夢の実現に頑張ってくれました。現在少しずつ落ち着いてきたルワンダにはJICAの事務所が開かれ日本大使館ができ私たちが応援し続けてきたウムチョムゥイーザ学園にも青年海外協力隊がいてくれるようになりました。

去年東日本大震災が発生して活動は難しくなりましたが、ここ福島で生かされている私たちができることはなんでしょうか? 私たちにできることは希望と未来そのものである子どもたち、そしてその子育てをしている保護者の皆さんに寄り添う活動だと思いました。

それを可能にしてくれているのは、日本の各地で応援してくれるルワンダの教育を考える会の皆さんです。過去は私たちは変えられません。しかし、明るい未来を子どもたちに託しながら希望あふれる未来を作り上げていくことができます。



ウムチョムゥイーザ学園では、図書室やパソコン教室を設置することができました。さらに給食室を建設中です。来年には子どもたちが安心してお昼ご飯を食べられるように努力しています。そして、新たなプロジェクト技術専門学校ができるように今は、JICA や外務省に話し合いを進めています。

夢は念ずればかなうものと信じています。皆さんと一緒に今後とも福島復興とルワンダの発展に向けて精一杯頑張りますのでこれからもご協力ご指導をよろしくお願いします。



生きていれば、また立ち上がるができます。

生きていれば、学んだことはいつでも助けてくれます。

共に生きようと願えば、安心して生きていくことができます。





2012年2学期（4月～7月）の学費の納入状況の報告

単位：人 *時価換算による。単位：円

納入状況	幼稚園			小学校						合計	金額
	年少	年中	年長	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
小学生 100%	56,000 ルワンダフラン			5	15	11	13	17	12	73 人	510,399
幼稚園 100%	11	16	10	51,000 ルワンダフラン						37 人	235,598
その他	3	2	3	5	8	6	7	6	2	42 人	238,376
0%	1	9	6	6	7	7	9	9	8	62 人	0
合 計	15	27	19	16	30	24	29	32	22	214 人	984,373
予算額											1,458,160
不足金額											473,787

ウムチヨムイーザ学園の会計報告

〔収入〕

〔支出〕

*時価換算による

単位：円

項目	金額	項目	金額	項目	金額
学費	984,373	職員への給料	2,025,210	先生へ貸し出し	3,746
日本からの支援	1,972,010	設備維持経費	38,064	税金や銀行への返済金	354,048
入学登録料	0	通信費	11,237	教材費	18,728
バス運行収入	131,096	消耗品	43,884		
水販売収入	4,768	車の維持費	169,771		
家畜収入(やぎ・うさぎ)	0	研修会議費	59,306		
その他の収入	198,945	保険料	487		
個人寄付	0	環境整備費	146,476		
他の NGO からの寄付	0	その他の経費	129,722		
ADESOC会費	0	備品	19,977		
銀行からの借り入れ	17,730	建設費	489,264		
1学期からの繰越金	224,488	小 計	3,133,398	小 計	376,522
合 計	3,533,410			合 計	3,509,920

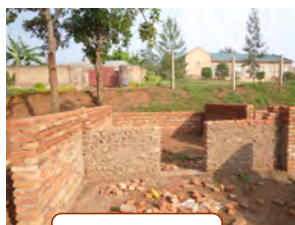
残金 23,490

日本からの支援

【建設中の給食室】



2012. 3. 10



2012. 9. 4



2012. 9. 28



2012. 10. 29



2012. 10. 29

ルワンダの教育を考える会 新潟支部の皆様から支援をいただいている給食室建設は、2012年土台作りから始まって、来年には子ども達に給食を提供できる予定です。



今年も京都の中地さんがルワンダへ訪問して、図書室の本の充実に取り組んでいただきました。子ども達の夢もどんどん大きく・・・

ルワンダ紀行

なにことわざ

秋元俊二

今回のルワンダへの旅（8/28～9/7）は、実はとても気持ちを構えたスタートでした。現在進行中の「学園における水道技術者養成学校建設プログラム」申請のための調査や資料収集が、私のルワンダでの仕事（そうです何か会社の出張の様相です）と感じていました。

事前に考えた調査ポイントがほんとうに見聞できるのだろうか、調査ポイントが多くてマリーさんがうまく段取りしてくれているのだろうか。マリーさんのことだから大丈夫だよな、いや待てよ……。搭乗前の成田で同じことを反芻していました。

ここで何故か思い浮かんだことわざが「**案ずるよりも産むが易し**」・・結局は上手く行くんだろうな。続いて浮かんだことわざが「**油断大敵**」

カタールエアラインのアラビアンナイトを彷彿させる CA、以前ハイジャックが起こったウガンダの中継空港、そして機内から見えるアフリカの赤い大地、時間の経過とともに、成田での不安はこれからの期待へと変わっていきました。

申請資料作成のための調査ポイントを列挙していった私にとって、滞在中の限られた時間での情報のハードルは決して低いものではありませんでした。せっかくここまで来たのに……。ところが私が考えていた数々の調査ポイントが、別な視点から見ればさらに別な次元で解決できることに、アフリカで出会った方々に教えられました。JICA, EWSA、日本大使館の方々……。ほんとうに素晴らしい出逢いでした。

ここで浮かんだことわざが「**百聞は一見に如かず**」 現地の空気を吸えばすべて解決。



お世話になった校長先生宅の人々。お土産の一口羊羹を不思議そうに食べていた人。ガムを美味しそうに噛んでいた子供。滞在中何度もワインをご馳走してくれたビジネスマン。カップ麺のためのお湯を沸かしてくれたメイドさん。ほんとうに皆、純粹で、何かを掴み取る一歩手前の、そう「坂の上の雲」を一心不乱に見て前へ進んだ日本の明治人を思い起こしました。

日本人に今求められることわざ 「**温故知新**」

今回のルワンダの旅で印象に残った風景は、北部ビュンバへの途中の景色でした。山の裾野まで延々と続く紅茶の畑でした。日本で子供の頃に見覚えのある景色に似ていました。心に浮かんだのが、私の大好きな童謡の「里の秋」でした。とても、稔りの多い、心に残る旅となりました。



てるちゃん日記

当会理事斎藤照子さんが、2012年8月28日ルワンダへ旅立ちました。ルワンダでは「Izuba」(ルワンダ語で「太陽」)と呼ばれているようです。これから、照子さんの近況を通信でお知らせしていきたいと思います。一緒にルワンダで生活している気分を味わってください。



皆さんお元気ですか。

日本にいた時よりかなりハードですが、それがすこしも苦にならないのですから、我ながら不思議でなりません。

ルワンダの伝統食「イギゴマ＝とうもろこしの粉をといて、ちょうど日本の米粒のないおかゆのような感じ」が大好物。朝食はパンを勧められてもこれ一本やり。ルワンダ食は私にピットンコです。

私のルワンダ語の最初の先生は、校長の2歳になったばかりの女の孫「ルルちゃん」。言葉を覚え始めたばかりで、いろんな物を指さして「何なに」と言います。それを私が真似するという次第。時々「それは幼児語だから真似しちゃダメ」と言われます。



私が夕食をおえて部屋に戻るとき、ルルがチョコチョコやって来て、ルルの背丈にかかんだ私の首に手を回し、「イズーバ」と言いながら肩をトントンたたきます。それが私には「ダイジョウブ」と言ってくれているようで、こころが、ほのぼのしてきます。

ルワンダの美しい自然、屈託のない明るい笑顔、美味しい果物と野菜。全てが私の人生の最終楽章を素敵なメロディーで包んでくれることでしょう。確実に歩んで参ります。



それでは、また。皆さんお元気で……「明るく、楽しく、おおらかに」ね。

2012 年 10 月 21 日 23:31

Izuba照子

ーお知らせー

学園建設・運営から12年になりますが、授業料の払えない子ども達も払える払えないかではなく先着順で受け入れているため、先生方への給料等運営には日本からの支援に頼っているのが現状です。

学園には、自立できる道を努力していただいています。趣旨を御理解いただき今後とも支援をお願いします。

当会ホームページにも掲載させていただきましたが、月一口500円からのご寄付を100人を目標に募集しています。

NPO法人 ルワンダの教育を考える会 PRESENTS!! ルワンダ DAY in ふくしま

日 時 2012年7月16日(月 海の日) 開演13:30

場 所 福島市A・O・Z(アオウゼ) 入場無料

第1部ルワンダ出身の当会理事長によるルワンダの子ども達の現状と仮設住宅への訪問等1年間の当会の活動報告と第2部劇団「赤いトマト」による愉快的な人形劇や弾き語りを通じて国際理解と平和教育の大切さを感じていただくことを趣旨として各団体様によるご理解と協賛金、市民の皆様の支援により行事を成功させることが出来ました。心から感謝申し上げます。



また、当日は県北のJRC高校生ボランティアや桜の聖母短大生をはじめたくさんのスタッフが活躍してくれました。お互い忙しい日常をかかえてる中で、ほとんど打ち合わせもなかったのですが、会場設営・展示物担当・ルワンダ料理担当等・・・チームワークで乗り切ることが出来ました。これからも、よろしくお願いいたします。



アンケート結果

第1部 マリールイズの講演の感想

- ・3月11日の状況を見て命の大切さを再確認しました。
- ・福島に来て話を聞いて、命や夢や共に生きることの大切さが身にしみました。
- ・出会いの大切さと、日本の今の日常がとても恵まれていることを感じました。
- ・お話を元気いただきました。子ども達のビデオとアカペラの歌に心が揺さぶられました。
- ・小学生の子ども二人に講演を聴かせたくて参りました。恵まれているはずなのにどこか未来に不安のある私たちに、とても貴重なメッセージをありがとうございました。
- ・ルワンダの子ども達の純真な気持ちに涙がでました。
- ・ルイズさんの真実の話が心にしみました。

第2部 人形劇団「赤いトマト」の感想

- ・震災後いろいろありましたが人形劇を見ることが出来てよかったです。とても楽しいひとときでした。
- ・人形劇ではたくさん笑わせてもらい、コンサートではテレビでしかわからない福島の人たちの気持ちを生で感じさせてもらいました。佐渡から応援していきます。
- ・ホッとできる笑いをありがとう！ 伸さん汗だくのパフォーマンス・歌・奥様との息の合った劇などとても胸にひびきました。
- ・リズムやテンポなどさすが、ラストの弾き語りGood！



今後のルワンダの教育を考える会について、アドバイスがありましたらお聞かせ下さい

- ・本来人間人類は皆地球家族です。ですから「絆」という言葉も今だけ必要とされるものではありません。そんな世界が早く来るといいですね！
- ・これからも日本国との交流の橋を大きくルワンダにいろんな施設又中学校又上の教育機関が出来よう発展することを願います。
- ・みなさまのあたたかさを感じました。お料理もコーヒーも美味しかったです。
- ・世界には多くの貧困国があります、長〜くステキな活動を！
- ・スタッフのみなさんご苦労様でした。ガンバレ。ガンバレ、ガンバレ！



ルワンダの子どもたちへ

ルワンダフルクリスマスキャンペーン

コーヒー
紅茶注文
も受付中



ルワンダフルクリスマスキャンペーン期間:

12月1日~12月31日

ルワンダの子どもたちへの募金箱を設置して
いただける場所を募集します!!

連絡をいただければ設置場所への依頼文を
送らせていただきます。



★各種振替口座番号のご案内です!★

会費振込・寄付・募金(奨学基金もよろしくお願いします。)

郵便振替口座: 02290-0-97126

加入者名: NPO法人 ルワンダの教育を考える会

本年度の会費
納入状況をお
知らせします。

ゆうちょ口座自動振込み寄付をはじめました。毎月月末締め切り、別紙申込書に記入
捺印のうえ郵送願います。目標100名まで継続して募集します。現在12名登録

ソーラー発電...ソーラー発電機を増やし、電力の確保をしたいと考えています。

郵便振替口座: 02200-2-77634

加入者名: ルワンダ ソーラー発電P

HELP

事務局では、事務局スタッフ及び各種イベント開催時、お手伝いくださる方を
随時募集しています。一緒に楽しみませんか。連絡をお待ちしています。

—編集後記—

子どものマラソン大会が風速6mで
延期になりました。セシウムと
インフルエンザは見えません。

夢や希望は生きる力を与えてくれ
ます。ルワンダから届いた「ビリーブ」
の歌声に背中を押されました。



NPO法人ルワンダの教育を考える会

理事長 カベンガ・マリルズ

〒960-8055

福島県福島市野田町四丁目 8-20

TEL / FAX: 024-533-8289

ホームページ: <http://www.rwanda-npo.org>

e-mail: info@rwanda-npo.org